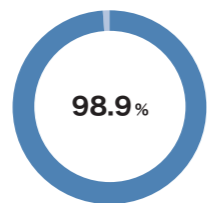


2017年開設の4学部5学科が完成年度を迎え 初めての卒業生を輩出

NEWS 01

2017年に開設した文学部国際文化コミュニケーション学科、国際学部グローバル・イノベーション学科、国際地域学科、国際観光学部国際観光学科、情報連携学部情報連携学科が2021年3月に完成年度を迎え、初めての卒業生838名を輩出しました。コロナ禍で採用を控える業界が出るなど厳しい就職活動状況のなか、学部・学科の学びや特性を活かし、4学部5学科とも高い就職率となりました。本学では今後も、入学直後から長期的な視野で自身のキャリアを考える各種プログラムを段階的に実施し、正課・正課外におけるキャリア支援プログラムを用意してまいります。

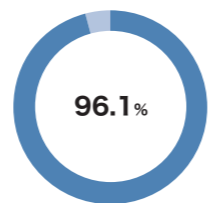
文学部 国際文化コミュニケーション学科



情報通信業	15.6%
小売業	12.2%
卸売業	8.9%
金融業	6.7%
建設業	6.7%

株式会社AOI Pro. / キヤノンITソリューションズ株式会社 / 株式会社静岡銀行 / 株式会社新潮社 / 積水ハウス株式会社 / 東武トップツアーズ株式会社 / 株式会社ニチイ学館 / 日本ATM株式会社 / 株式会社ファーストリテイリング / プルドックス株式会社

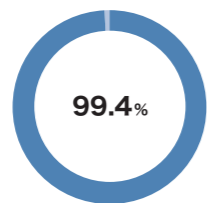
国際学部 グローバル・イノベーション学科、国際地域学科



情報通信業	17.1%
卸売業	14.6%
小売業	9.6%
建設業	6.5%
地方公務	3.5%

楽天グループ株式会社 / 川崎市役所 / 積水ハウス株式会社 / 株式会社TBSスパークル / 東京地下鉄株式会社(東京メトロ) / 株式会社ニトリホールディングス / 船橋市役所 / ベンテック株式会社 / 星野リゾートグループ / 株式会社ロッテ

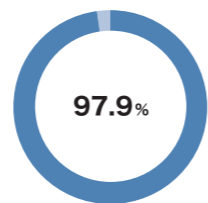
国際観光学部 国際観光学科



生活関連サービス業、娯楽業	12.9%
情報通信業	12.6%
小売業	11.7%
不動産取引・賃貸・管理業	10.7%
宿泊業、飲食サービス業	7.1%

フォーシーズンズホテル東京大手町 / 株式会社共立メンテナンス / リゾートトラスト株式会社 / 東武トップツアーズ株式会社 / 株式会社阪急交通社 / 東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本) / 株式会社りそな銀行 / 株式会社NTTデータ / 株式会社オリエンタルランド / 株式会社JTB

情報連携学部 情報連携学科



情報通信業	49.4%
その他の専門・技術サービス業	7.2%
卸売業	6.8%
建設業	6.0%
小売業	5.1%

日本アイ・ビー・エム株式会社 / トレンドマイクロ株式会社 / 富士ソフト株式会社 / 株式会社NTTデータ / ニューソン / シャープマーケティングジャパン株式会社 / 株式会社ドコモCS / 株式会社JR・東日本システム / 株式会社コーエーテクモホールディングス / 戸田建設株式会社 / 小田急電鉄株式会社

法学部 谷釜尋徳教授が第46回交通図書賞を受賞

NEWS 02

法学部法律学科 谷釜尋徳教授の著書『歩く江戸の旅人たち—スポーツ史から見た「お伊勢参り」—』(晃洋書房)が、第46回交通図書賞の第3部歴史部門を受賞しました。交通図書賞は公益財団法人交通協会により1975年度から実施されている顕彰事業であり、交通に関する優秀図書を選定し、広く推奨することで交通知識の普及と交通従事者の教養の向上を目的としています。

2021年4月5日に本学白山キャンパスにて授賞式を開催。式はコロナ禍により受賞者ごとに個別で行われ、公益財団法人交通協会の上野文雄会長兼理事長より谷釜教授に賞状が授与されました。この著作では、江戸の庶民に愛された「お伊勢参り」の旅をスポーツ史の視点でひもとき、これまでの歴史研究では解明されてこなかった日本人と歩行にまつわる魅力あふれる世界を紹介しています。谷釜教授は「本学に着任以来取り組んできた研究がこのような形で評価され、大変嬉しく思います。本書の出版機会を与えてくださった晃洋書房様、そして日々の研究活動を支援してくださっている東洋大学に心より感謝申し上げます」と受賞の喜びを語りました。



左側より交通協会の上野氏、谷釜教授、晃洋書房萩原氏、吉永氏



出版社：晃洋書房
2020年3月30日発行
ISBN：9784771032941
四六判、206ページ
定価 2,090円

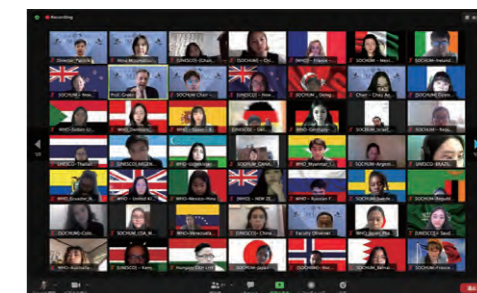
第2回東洋大学模擬国連を コロナ禍によりオンラインで開催

NEWS 03

2021年3月27日、28日の2日間にわたり、第2回東洋大学模擬国連(TOYO MUN Virtual Conference 2.0)をオンラインで開催しました。東洋大学模擬国連は、「様々な異文化背景を持つ学生同士を結びつける機会」を活動理念とし、国際学部グローバル・イノベーション学科の学生を中心に昨年度立ち上げられました。

2回目となる今回は、世界12カ国・19の教育機関から聴講者を含む88名が参加し、「“Cultivating Global Youth Leaders through introducing Model United Nations” (模擬国連会議の導入によるグローバルな若者のリーダーの育成)」をテーマに、SDGsに関わりの深いトピックについてすべて英語で議論しました。

参加者はそれぞれ社会、人道および文化委員会(SOCHUM)、世界保健機関(WHO)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)の3つの委員会に分かれて活動し、事前準備期間に担当国やテーマについて調査や政策を立案。当日の会議では担当国の政策を軸に、自国の国益を考慮しながら国際社会全体の問題解決に貢献するための議論や交渉を行いました。参加者からは「レベルの高い議論が行えた」「世界中の参加者からさまざまな意見を聞いた。継続して参加したい」などの声が上がっており、有意義な国際交流活動の場となりました。



委員会別テーマ

社会、人道および文化委員会 (SOCHUM) :
Addressing the Rise of Xenophobia and Related Discrimination in the Pandemic-Era
(パンデミック時代における外国人排斥の台頭と関連する差別への取り組み)

世界保健機関 (WHO) :
Achieving SDGs 3 amidst the global pandemic
(世界的な大流行の中での開発目標の達成)

国連教育科学文化機関 (UNESCO) :
Resolving the educational issues faced by generation C
(世代Cが直面する教育問題の解決)

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」 第2回中間評価で再び「A」評価を取得

NEWS 04

本学は、2014年に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業(タイプB:グローバル化牽引型)」の採択を受け、「TOYO GLOBAL DIAMONDS グローバルリーダーの集うアジアのハブ大学を目指して」という構想の下、日本社会のグローバル化を牽引する大学を目指し国際化を進めています。

その取り組みに対する2回目の中間評価が2020年度に行われ、本学は総括評価5段階(S・A・B・C・D)のうち前回に続きA評価を取得しました。具体的な評価ポイントとして、2017年度に開設した国際化を牽引する3学部5学科[国際学部グローバル・イノベーション学科、国際地域学科、情報連携学部、国際観光学部、文学部国際文化コミュニケーション学科]の設置をはじめ、全学部生対象のToyo Global Leaderプログラム導入等による学生のグローバル人材としての素養および外国語能力の向上、UMAP国際事務局としてのハブ機能受け入れ、さらに本学の学校法人が100%出資する事業会社東洋大学グローバルサービス株式会社(TUGS)の設立が他の大学にはないユニークな取り組みとして評価されました。

事業支援期間は2014年から最大10年間であり、今後の課題としてキャンパス・学部間における国際化実施レベルの格差の改善など、より一層、全学的な推進およびグローバル人材育成におけるボトムアップを図ります。



文部科学省 「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択

NEWS 05

2021年3月11日、文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」の「取組1:学修者本位の教育の実現」に、本学の「『学生一人ひとりの成長を約束する学修者本位の教育の実現』～“3万人のLearning Journey”の羅針盤～」が採択されました。この本学の取り組みは、同年1月に策定した「東洋大学教育DX(デジタルトランスフォーメーション)推進基本計画」の5つの枠組みの1つである「入学から卒業まで一貫した教育情報のデータ統合とAI解析結果の最適活用」を基にしています。

文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」は、大学・短期大学・高等専門学校においてデジタル技術を積極的に取り入れ、先進的なモデルとなる取り組みを推進するために必要な環境整備費を支援するものです。ポストコロナ時代の高等教育における教育手法を具体化し、その成果の普及を図ることを目的としています。

今回選定された全取り組みは、単なる機器や技術等の導入にとどまらず、大学等全体の教育の高度化に繋がる意欲的な取り組みである点、また、補助期間終了後も取り組みを継続して実施するための具体策が示され、他大学等への普及可能性が高い点などが評価されています。また事業委員会からは、これまでの教育環境を見直すチャンスとして捉え、計画を具体化し成果を広く社会に発信することが期待されています。本学は今後、デジタルを十分に活用し学修者の視点に立った教育の実現を目指していきます。

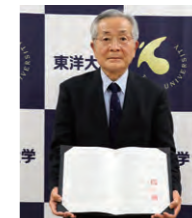
「東洋大学教育DX推進基本計画」 5つの枠組み	1:入学から卒業まで一貫した教育情報のデータ統合とAI解析結果の最適活用
	2:オンキャンパスとオフキャンパスの学習スタイルの高度化と多様化
	3:建学の精神の具現化を目的としたリカレント教育の世界展開(国内地域を含む)
	4:学生の成長を中心に据えた体系性あるFD・SDプログラムの構築と学内業務の断捨離
	5:デジタル活用推進本部による推進体制と外部人材を採り入れた評価体制の構築

和歌山県紀の川市および株式会社和環と 「地域産業創出に向けた連携協定」を締結

NEWS 06

この度、学校法人東洋大学は、全国有数の果樹産地である和歌山県紀の川市、株式会社和環(和歌山県和歌山市)と連携し、熱中症対策商品の開発による地域産業の創出を目指す「地域産業創出に向けた連携協定」を2021年3月9日に締結しました。

本学生体医工学研究センターでは柑橘類の果皮に含まれる成分の有効活用について研究を進めており、当センター長である理工学部生体医工学科の加藤和則教授が、ハッサクや夏ミカンの皮に含まれるオーラプテンを摂取することで、熱中症に効果がある可能性を示しています。株式会社和環と熱中症対策商品の共同開発を進めていくとともに、紀の川市と幅広い協力関係の基盤を構築することにより、豊かで活力ある地域社会の形成・発展への貢献、教育・研究の振興および人材の育成に繋がることが期待できます。



学校法人東洋大学
理事長
安齋 隆



紀の川市
市長
中村 慎司氏



株式会社和環
代表取締役社長
土屋 典子氏

主な協定内容

- ①熱中症対策成分の効果実証研究に関すること
- ②熱中症対策成分を含む加工商品の開発支援に関すること
- ③創出商品による販売スキーム開発に関すること
- ④モデル事業に関する情報発信や多様な関係者とのネットワーク構築に関すること

《 INFORMATION 》

生計維持者失職に対する緊急支援、奨学金「RIBBON」

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生計維持者(父/母)が失職し経済的に困窮している学生の修学継続支援を目的とした返済不要の奨学金「RIBBON」による緊急支援を実施しています。

※「RIBBON」は校友会(卒業生)・雨水会(父母および保証人)・役員・教職員等をはじめとする皆様からの寄付を原資としています。

対象学生

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生計維持者(父/母)が失職したことにより、経済的に困窮している通学課程に在学している学部生。ただし、以下の学生は対象外とします。

- 休学中の学生
- 大学院生、通信教育課程の学生、交換留学生、科目等履修生、特別科目履修生、受託学生、外国人研修生、研究生、特別学生
- 生計維持者(父/母)が海外で就労しており、日本国内で発行された申請書類の提出ができない場合
- すでに再就職をしており「雇用保険受給資格者証」が提出できない場合

申請期間

2021年4月1日～2022年2月28日

※原則として失職が発生してから3か月以内の申請が必要です。

※4年生については卒業までの在籍期間が3か月に満たない場合は申請対象外となります。

▶詳細は、[本学Webページ](#)でご確認ください。



給付金額

学部・学科	金額
【第1部】 文学部、経済学部、経営学部、法学部、社会学部、国際地域学部、国際学部、国際観光学部、ライフデザイン学部 (生活支援学科、健康スポーツ学科)	20万円
【第2部】 文学部、経済学部、経営学部、法学部、社会学部、国際学部イブニングコース	10万円
理工学部、総合情報学部、ライフデザイン学部 (人間環境デザイン学科)、生命科学部、食環境科学部、情報連携学部	25万円